




教材・支援機器活用実践事例

単語をまとまりとして捉えている児童が、一文字ずつ読むことができるための読みの指導  
「絵合わせカードや文字チップを使った単語の構成等の教材」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部1学年（重複障がい学級）	
	障がい名等	知的障がい	
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	発音は不明瞭であるが単語や身振りで意思表示をする。読むことについては、平仮名の50音の大部分を読むことができる。しかし、単語をまとまりとして捉えていて、一文字ずつ理解していないのではないかと考えられる。	
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	国語科	
	単元(題材)名	「よもう!かこう!ひらがな」	
	単元(題材)の概要	毎時間、平仮名50音の中から文字取り上げて、①絵合わせカードをする、②文字チップで単語の構成する、③筆順動画を見て、今日の平仮名のなぞり書きをする、④本時に習った「今日の平仮名カード」を作る、の流れで取り組む。⑤最後に50音表に今日の平仮名カードを入れて累積させていく。	
教材・教具・支援機器について	教材・教具・支援機器	①絵合わせカード	②文字チップで単語の構成
			
		今日の平仮名を使った単語を取り扱い、絵合わせをした後に文字を読む。	絵だけを見て文字チップを構成して、出来上がった単語を読む。
		④「今日の平仮名カードづくり」	⑤50音表へカードを入れる
		表  裏 	
		今日の平仮名を書いたり、文字シールを貼ったりしてカードを作る。	50音表へ「今日の平仮名カード」を入れる。
ねらい・工夫点等	○ 絵合わせカードや単語を文字チップで構成する学習を通して、様々な単語を読むとともに、単語は文字を合わせて構成していると知ること、文字を一文字ずつ読むことができるようにする。		
材料・作成方法等	○ 絵合わせカードは、表は絵と文字を、裏には絵だけを表記する。文字チップの単語の構成の時には絵だけを見て文字の並びを考えて構成したり、文字を見せてマッチングしたりすることができるようにした。		
子どもの変容や評価	○ 様々な本人に身近な単語を読む学習を繰り返したことにより、横書きで書かれた単語を左から一文字ずつ指をさして読むことができるようになった。 ○ 50音表に平仮名カードを累積させて、掲示しておくことで生活場面でも読んだり、カードを操作したりして、より平仮名への興味が高まった。		